

「命を救って

くれた光線！

不思議な

パワー！も」



三重県
[Hotel & Resort]

今野 華都子 さん

私と光線治療器との出会いは子供の頃でした。というのも5人兄弟の4番目として生まれ子供の頃よりとても身体が弱く虚弱体質でひどい貧血と低血圧で、朝起きることだけでも大変でした。体調が悪い時の血圧は上がき、下は20になることもあるほどでいろいろな病気をしました。そんなときに助けてくれたのが光線治療でした。これまでに腎臓や肝臓の病気も何回かやりましたし、癌も2度経験しています。そんな私も成人し結婚し二人の子供にも恵まれごく普通の生活を送る日々でした。私がエステの仕事をするようになったきっかけは45歳のときでした。自分で生活費を稼がなければならぬ状況になり何をしたらいいか？一応、一通りのことは何でも出来るが、特別これが出て来る、誰にも負けていないというものはなかったが元手もなく出来ることはないか？そんなとき友達がまつげパーマをしてもらったというのを見て、これなら私にも出来ると思いい、6畳1間からはじめました。上手にまつげパーマをかけるにはどうしたらいいか、どうしたらキレイに見えるか日々悩み、自分でロットを作り一人一人に合ったものを作り成功し、とても繁盛しました。しかし、目がキレイになっても肌が荒れていることに気付きパックを取り入れるようになり、だんだんとエステをやるようになっていったわけです。そして、売り上げも順調に上がっていききました。そんな時、展示会で偶然にアークメディカルの光線を見かけ「あっこれ！これだ！」と、私が探し求めていたものを偶然に見つけました。原点に帰りお客様の悩みを解決してあげられる。自分の身体のためにもという気持ちもあり迷わず導入しました。身体の中から健康であること、心からキレイになることで、一層、人として輝きが増していきます。

私は光線のおかげで健康も手に入れ、2004年にあるエステ機器のコンテストで日本一になり、翌年の世界コンテストで世界一にもなりました。光線で健康をい手にいれただけでなく、身体の中に何か不思議なパワーを得ているかのように事が運んでいきます。

現在では、私の体験を元に全国各地でさまざまなテーマの講演会に飛び回るような状況です。私がもらったパワーを今度は多くの方々にと思っておこなっています。(現在では某有名リゾートホテルの社長も兼任しています。)



「沖縄は光線の

宝庫なのに

しかし

実際はビルの中」



沖縄県
[エステティックサロン]
仲吉 なおみ さん

私は、今から12年以上前に以前に光線器とであいました。そのころ勤めていたエステサロンでもケアーの中に取り入れていました。初めは半信半疑で本当に、この機械で綺麗になるの？ 体調が良くなるの？ 変わるの？ と言う感じでした。私はボディケアーでいらしてのお客様に良く照射を行いました。みなさんが共通しているのが、とても気持ちいい汗をかきやすかったです。ハンドマッサージと組み合わせるといい結果が出ていたとおもいます。以前のサロンでは痩身目的にしか使用していませんでしたが、私自身が一番効果を実感したのは、私自身が事故に遭い顔面打撲、むち打ちになって、毎日照射をしたところ1週間くらいで首がかなり楽になり、以前も2回むち打ちをしてるので違いは直ぐにわかり光線の効果に驚ろかされたことをよく覚えていています。

今は沖縄でエステサロンをしております。空気もキレイ、自然に囲まれ、太陽は燦爛とした島だから健康なイメージですが、実は現代ではそうでないのです。逆に太陽が強すぎて避けてしまいます。日光浴が気持ちいいのでなく疲れてしまうのです。小さな子供さんは夕方から公園に、お母さんが連れていくのです。いくら沖縄といっても昔とは違い、多くの人はビルの中で空調の効いた部屋にいます。ご年配の人に聞くと、昔は聞かなかった骨粗しょう症やアトピー、うつ病なども最近ではとても増えているようです。私は光線療法を勉強しましたので理解していますが、沖縄の強い紫外線で皮膚ガンになった人は聞いたことは一度もありません。また、沖縄は長寿の県としても有名ですが、90歳を超えるお年寄りが元気に外で働いている姿を多く見かけますが、シミひとつないキレイなおばあちゃんばかりです。沖縄で暮らしてみても光線への自信が一段と増しました。写真は私の仕事場のすぐ前のビーチです。とても恵まれた環境の中で自然の光線療法を満喫しています。もちろん光線治療器も使用しています。

健康な身体があつてこそ美しくいをコンセプトに地域に密着しお客様の美と健康のお手伝をさせて頂きながら、沖縄ならではの光線療法の良さを伝えていきたいと思えます。